

《情報公開文書》

下顎智歯抜歯時の術後知覚鈍麻発症における智歯歯根と下顎管の関係に関する多機関共同後ろ向き観察研究

研究の概要

【背景】

下顎智歯（親知らず）の抜歯は口腔外科手術において頻度の高いものの一つです。抜歯の術後合併症の1つである下唇の知覚鈍麻は、発症率は低いですが症状が中長期的に継続することが多く、患者さんの口腔機能に影響を与える可能性のある合併症であり、留意が必要です。しかしながら、下顎骨内にある下顎管（下歯槽神経血管束が走行）と智歯歯根は解剖学的に接触あるいは近接することがほとんどであり、現時点ではその危険性を十分に説明した上で抜歯を行っています。

【目的】

今回は、下顎水平埋伏智歯における智歯歯根と下顎管との関連性（変形度、接触部位）、またそれに伴う知覚鈍麻発症との関連性について検討を行う予定です。

【意義】

本研究より危険性の高い解剖学的状態（智歯歯根と下顎管との関連）がより明らかになり、患者さんへの説明およびその予防についてさらなる具体的な対策を立てることができるため、今後の口腔外科診療に貢献できると考えます。

【方法】

研究参加施設（長崎大学病院、重工記念長崎病院、市立大村市民病院）で症例を集めて、術前に撮影したCT画像にて歯根圧迫による下顎管の変形度と位置を分類し、知覚鈍麻の発現、症状経過の傾向について検討する予定です。

対象となる患者さん

2018年4月1日から2021年3月31日の間に研究参加施設（長崎大学病院、重工記念長崎病院、市立大村市民病院）で下顎智歯を抜歯されている20歳以上の患者さん。

研究に用いる情報

<p>●研究に用いる情報</p> <p>本研究は診療録より下顎水平埋伏智歯抜歯時の患者情報、術前情報およびCT所見に関する情報を集めて、検討を行う研究です。</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>	
<p>研究実施期間</p>	
<p>研究機関長の許可日～2025年12月31日</p>	
<p>研究実施体制</p>	
<p>研究代表者</p>	<p>所属：長崎大学病院 口腔外科 氏名：福嶋 大将 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7698</p>
<p>共同研究機関／研究責任者</p>	<p>この研究は長崎大学病院を中心に県内3機関で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p> <p>重工記念長崎病院 歯科口腔外科 六反田 賢 市立大村市民病院 歯科口腔外科 古川 浩平</p>
<p>長崎大学病院における 情報の管理責任者</p>	<p>長崎大学病院 病院長</p>
<p>問い合わせ先</p>	
<p>【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】</p> <p>長崎大学病院 口腔外科 担当者名 福嶋 大将 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095 (819) 7698 FAX 095 (819) 7700</p>	
<p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）</p>	